



第2回 (仮称) 地域・世代間交流部会

【摘録】



日時：平成24年10月16日(火)18:20~20:20

場所：宮前区役所4階第1会議室

【進行：大槻部会長】

1 出席確認

欠席：平井委員、太田委員

2 前回会議摘録の確認

別紙配布資料に基づき確認

3 具体的な課題解決への提案を検討

わくわくプラザの運営現況、事例紹介について、別紙配付資料に基づき説明

その後意見交換→別紙のとおり意見集約

4 部会名

未決定 検討課題の絞り込みがまだ充分でないため

5 今後の日程

第3回 12月12日(水) 18:15~ 区役所4階第1会議室

■次回準備しておく資料

・学校支援センター現況

テーマ：地域・世代間の交流

【総論】 地域・世代間の交流による地域の教育力の総合的な強化に向けた課題を再整理。今後当面の作業として、学校と地域連携の現況把握を目指し、関係者へのヒアリング等を検討していく。

【キーワード】
学校と地域の連携・地域マネジメント・

課題：学校と地域の連携にむけた課題（学校側）

- 連携への道筋や内容が不明（大槻・山下）
- 学校が抱える問題やニーズなどの実態把握（大槻・直本）
- 地域が入ることへの学校側の抵抗感や理解不足（大槻・田浪）
- 地域にとって敷居の高い学校（豊島）

◆既存の連携活動例

菅生中プラスワン（英語・数学指導）／稗原
小算数名人（九九指導支援）／囲碁・将棋指導
／水沢の森での活動／農業体験など

課題：学校と地域の連携にむけた課題（地域側）

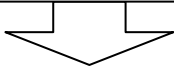
- 新しい人や若い人が入っていきにくい環境（山下）
- 過去50年で人口10倍、大部分が新住民（直本・山下）
- 自治会の活性化も学校との交流、世代間交流には不可欠（山下）
- 後継者不足による農業の縮小（豊島・山下）

◆既存の連携活動例

鷺沼町会（NHKで紹介）
北海道室蘭『自治会運営ハンドブック』

課題：家庭教育・地域教育の充実に関わる課題

- 核家族化。親の言う事を聞かない、祖父母と距離がある子ども（佐藤・田浪・豊島）
- 施設に集まり、外遊びをしない、自然体験に乏しい子ども（田浪・豊島）
- 便利さ追求により家事手伝いの機会がない子ども、料理ができない若い世代（岡・豊島・直本）
- 基本的しつけができない親・身につけていない子ども（大槻） 道徳観の喪失・価値観の多様化（岡・宮崎・山下）

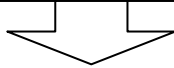
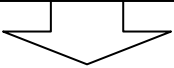


取組の方向性：地域が関わることで、今の子ども・親世代に総合的な教育支援、他世代交流の場の形成を展開

- 大人や高齢者が地域に関わることで、地域の将来のためになる場を形成。小学校はあくまで場の一例（直本・田浪）
- 多世代で一緒に何かをする機会や場から、地域の目を子どもに感じてもらう（田浪）
- 小中学生の世代に働きかけていく。様々な体験・経験が出来る場を創出する（豊島・宮崎）

取組の方向性：まちづくりに戦略を

- まちづくりに対する戦略性を。緑・緑と言うだけでなく産業振興も必要（宮崎）
- 宮前区は緑が多くて良いとみんな言うが、他に特徴や取り柄がないから？（豊島・山下）
- 町内会が地域全体をマネジメントできるように成長を促すノウハウの導入（宮崎）
- 宮前区の特徴・特色を活かす視点が必要（コンサル）



具体的提案検討の前に現状把握がまず必要

当面の作業：学校・地域連携の現状把握

- 学校と地域の連携の制度や活動例の現状把握（大槻・直本）
- 学校支援センターの利用状況（大槻・佐藤・田浪・豊島・直本）
- 行政担当者・先進地域関係者等へのヒアリング

具体的活動のアイデア

部活動指導へ地域人材の活用（大槻）
区民祭で学区対抗のイベント実施（佐藤）